

Japan Infrastructure Partners-JIP

(Authorized NPO)



第一回日緬合同技術委員会風景、ネーपीドにて (2013/1/28,29)
中央：U Kyaw Luin 建設大臣、右：U Kyaw Linn 公共事業庁長官

同、MM 署名風景

(JICA 草の根支援 ミャンマー・エーヤワディデルタ地域 人的資源開発事業)



道路研究所での技術マニュアル細部意見交換の様子
ヤンゴンにて (2013/1/31)



認定 NPO 法人 国際インフラ調査会

Japan Infrastructure Partners, JIP



パイロット舗装事業計画地点（エーヤワディ地域、2012/7）



同路線



試験用アスファルト乳剤プラントにて
(2013/1/30)



エーヤワディ地域橋梁補修・補強調査 Maubin 橋
(2010、2011 年度国交省 NGO 支援調査)



橋梁補修・補強調査の報告会（公共事業庁
ヤンゴン橋梁事務所にて、2012/1/9）



エーヤワディ地域 鋼橋塗装調査
(外務省 NGO 補助調査 2011/6)

当会の目指すもの

アジアをはじめとする開発途上国には、まだまだ開発の余地があるにもかかわらず、道路などのインフラストラクチャーの整備が遅れているため地域の社会経済の発展が阻害され、住民が貧困にあえいでいる国々や地域が多数あります。

このような隘路を打開するため、開発途上国と政府間技術協力事業に携わり長期にわたる海外での経験と海外技術協力の経験をもつもののがあつまり、各人のもつ知見・経験を開発途上国のインフラ整備に役立てようと考え、NPO 法に基づき NPO を設立し活動を行っているものです。

当会の会員は、道路、橋梁、洪水対策、水資源開発、下水処理、都市・地域開発等の社会経済基盤施設(インフラストラクチャー)整備に国内・海外で携わったものであり、海外技術協力を通じて、関係国とわが国との友好関係を増進し、またこれらの国々とわが国の双方の経済社会の発展に寄与しようとするものです。

JIP の設立・内容

- 1、機関名称： 特定非営利活動法人 国際インフラ調査会
Japan Infrastructure Partners、 JIP
(国税庁認定 NPO 法人)
- 2、設立年月日、会員等
設立総会 :平成 17 年 9 月 24 日
東京都認証:平成 18 年 2 月 15 日
設立登記 :平成 18 年 2 月 24 日
国税庁認定:平成 22 年 3 月 10 日(課法 11-68)
会員数 :42名
定例会 :総会(年一回)、活動推進会議(毎月開催)
発起人会座長: 玉光弘明
理事 :小室彬、朝倉肇、中尾忠彦、山名清郷、梶太郎、中村俊行、三宅篤、神長耕二
- 3、活動目的:「地球環境に配慮し持続可能な社会経済基盤施設(インフラ)の整備に関する調査・研究・設計施工維持管理事業等の協力を行い、開発途上国等の国土整備に協力することにより社会経済の発展を実現し、関係国およびわが国国民の友好関係と相互繁栄に貢献することにより国際協力活動に寄与することを目的としています。」
- 4、JIP の会員が提供出来る主たる専門分野は下記の通りであります。
 - ・ 道路、橋梁、交通管理と規制
 - ・ 防災・洪水制御と災害軽減、地すべり防止
 - ・ 水資源開発、排水、汚水処理
 - ・ 地域・都市開発計画
 - ・ 地図作成

JIP の活動業務

- 1、事業の種類
(ア) 開発途上国等との経済技術協力事業
(イ) 開発途上国等との技術移転事業
(ウ) 開発途上国等との技術交流事業
(エ) 開発途上国等との相互理解・友好関係の増進事業
- 2、ミャンマーとの関わり



JICA BETC (橋梁技術訓練センター) プロジェクトにより、On-The-Job-Training 方式で技術協力が行われ完成した Thuwana (ツワナ) 橋、当会会員多数が関係した。(1979-1985 年事業)



BETC プロジェクト実施前、調査団飛行機事故 (1978 年日本人 6 名、ミャンマー建設省 2 名)犠牲者慰霊碑に 3 3 回忌慰霊碑墓参 (国広夫人、大使館・JICA 職員、ミャンマー関係者らと) (ヤンゴン日本人墓地にて、2010/10/3)

3、活動事例

- 2005年11月 ベトナム緊急治水対策予備調査を実施。(近藤、竹内、中尾、佐々木、小村)
- 2006年3月 2004年10月調査に引き続き、ミャンマー道路改良管理調査事業実施(小室、朝倉)
- 2006年11月 フィリピン・マニラ周辺インフラ現況調査実施
- 2006年12月 ESCAP アジアハイウェイ(ミャンマー・モニワ～カレワ間)調査に参加協力。(小室)
- 2007年2月 ミャンマー道路・舗装調査および技術セミナーを実施(朝倉、梶、内田)
- 2007年3月 ベネズエラ研修生懇親会を開催。(竹内他)
- 2007年3月 エチオピア橋梁研修生に道路セミナーを実施(朝倉、梶)
- 2007年10月 ミャンマー橋梁・都市計画 JICA 研修生との懇親会を開催(朝倉、ツワナ会)
- 2008年1月 ミャンマーに道路・舗装調査団派遣・道路セミナー実施(朝倉、服部、小関)
- 2008年2月 ラオスに道路・舗装調査団派遣(梶、埜本)
- 2008年3月 ミャンマー道路・舗装技術交流調査団(道路セミナーなど実施)派遣(IDI 調査に協力)
- 2009年2月 東京での国際会議を機会にフィリピン・ミャンマー要人と交流会実施。
- 2009年10月 JICE 日本国際協力センターの JENESYS Programme(21世紀東アジア青少年大交流計画)ミャンマー技術者(20名)招聘計画に協力し、講義・現場見学調整等の活動実施。
- 2010年2月-8月 JICS 日本国際協力システムの NGO 支援事業採択を受け、技術専門書「語り継ぐ舗装技術」の英文翻訳事業を当会会員により実施。国際アスファルト舗装協会(ISAP)名古屋会議において、上記翻訳本700部を配布、わが国の舗装技術の歴史を参加者に紹介。
- 2010年5月ミャンマー工学会・会長のハンゾー氏の土木学会国際貢献賞受賞の来日時に、交流会・技術交流セミナーなどを実施。
- 2010年10月 ミャンマー橋梁補修補強技術協力調査団を、国交省 NGO 技術協力支援事業により派遣、現地調査および政府幹部に報告会を実施。(藤原、朝倉、高木、加藤)
- 2010年10月 ミャンマーのエーヤワディ・デルタ地域における簡易舗装草の根プロジェクト企画調査を外務省 NGO 補助事業により実施。現地調査と政府関係者との技術ワークショップ。(小室、神長)
- 2011年6月 ミャンマーの橋梁塗装プロジェクト調査事業を、外務省 NGO 補助事業により実施。現地調査とパブリックワークス幹部・現場技術者と技術報告・交流を実施。
- 2011年12月 ミャンマー橋梁補修・補強等に関する技術移転調査事業を、国交省 NGO より委託され、現地調査および政府幹部に報告会を実施し、報告書を作成した。
- 2012年2-3月 ミャンマー中部メイクテラ市付近レインド村における生活道路簡易補修プロジェクト形成調査を、外務省 NGO 補助金プロジェクト調査事業で実施、現地道路や住民状況を調査し報告書を作成しました。
- 2012年7月 JICA 草の根支援事業「ミャンマー エーヤワディ・デルタ地域における雇用促進のための労働集約型道路整備(路面処理)に関する人的資源開発事業」契約にともなう現地調査実施。
- 2013年1-2月 JICA 草の根事業により、第一回日緬簡易舗装技術マニュアル合同委員会をネーピードにおいて開催。(日本道路協会との合同技術委員会体制で実施)

認定 NPO 法人 国際インフラ調査会

Japan Infrastructure Partners (JIP)

〒162-0045

東京都新宿区馬場下町1番地1早稻田 SIA ビル

電話：03-5285-3151

FAX：03-5285-3150

Home Page: <http://www.infra-jip.or.jp>

E-mail: JIP-admin@infra-jip.or.jp